



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 三谷セキサン株式会社
 コード番号 5273 URL <http://www.m-sekisan.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三谷 進治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 阿部 亨

TEL 0776-20-3333

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	18,545	17.1	2,286	80.3	2,511	77.8	1,635	89.0
30年3月期第1四半期	15,835	1.1	1,268	19.5	1,412	2.9	865	3.8

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 1,936百万円 (8.4%) 30年3月期第1四半期 2,113百万円 (1,179.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	81.35	
30年3月期第1四半期	42.50	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	82,960	54,759	63.7	2,633.24
30年3月期	80,595	53,288	63.8	2,554.18

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 52,849百万円 30年3月期 51,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		8.50		15.00	23.50
31年3月期					
31年3月期(予想)		9.50		9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,000	5.4	3,400	18.6	3,600	18.5	2,350	17.8	116.75
通期	65,000	3.5	5,100	27.1	5,300	25.5	3,500	25.9	173.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	24,986,599 株	30年3月期	24,986,599 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	4,916,518 株	30年3月期	4,859,669 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	20,101,414 株	30年3月期1Q	20,358,292 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調となりました。一方で、原材料価格の高騰、人手不足による労務費の高騰、米国の経済政策運営などの海外経済の不確実性等、不透明な状況が続いております。

当社グループの主力製品であるコンクリートパイル業界におきましては、官公需要は減少したものの、民間需要が増加したため、全体の出荷量は前年同期比で115.6%となりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は185億45百万円（前年同四半期比17.1%増）、営業利益は、コンクリートパイル事業における販売量の増加や、採算管理の徹底・経費抑制等の収益改善に努めた結果、22億86百万円（同80.3%増）、経常利益は25億11百万円（同77.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億35百万円（同89.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コンクリート二次製品関連事業

コンクリート二次製品関連事業につきましては、販売強化に取り組み、採算管理の徹底・経費抑制等の収益改善に努めました。その結果、当部門の売上高は157億40百万円（前年同四半期比20.0%増）となり、営業利益は20億41百万円（同136.1%増）となりました。

② 情報関連事業

情報関連事業につきましては、売上高は14億49百万円（前年同四半期比0.9%増）となり、営業利益は47百万円（同43.7%減）となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、売上高は13億55百万円（前年同四半期比5.5%増）となり、営業利益は3億93百万円（同0.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は829億60百万円となり、前連結会計年度末と比べ23億64百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金、売上債権等の流動資産の増加と、投資有価証券等の固定資産の増加によるものであります。

負債合計は282億円となり、前連結会計年度末と比べ8億93百万円増加いたしました。これは主に、仕入債務等の流動負債の増加と、投資有価証券の時価評価増による繰延税金負債の増加等の固定負債の増加によるものであります。

純資産合計は547億59百万円となり、前連結会計年度末と比べ14億70百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金とその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に公表した連結業績予想は、当第1四半期連結累計期間の業績と今後の業績見通しを勘案し、業績予想の見直しを行った結果、下記のとおり修正いたしました。通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。なお、西日本豪雨による業績への影響につきましては現在調査中であり、今後適時開示が必要な場合は速やかに開示いたします。

2019年3月期第2四半期（累計）連結業績予想（2018年4月1日～2018年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	34,000	2,800	2,900	2,000	99.36
今回発表予想 (B)	34,000	3,400	3,600	2,350	116.75
増減額 (B-A)	—	600	700	350	17.39

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,240	22,669
受取手形及び売掛金	20,906	21,549
電子記録債権	1,761	2,322
商品及び製品	2,155	2,170
仕掛品	81	137
原材料及び貯蔵品	774	769
その他	422	599
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	48,337	50,214
固定資産		
有形固定資産	15,813	15,848
土地	7,391	7,391
その他	8,422	8,457
無形固定資産	730	729
投資その他の資産	15,714	16,167
投資有価証券	13,978	14,354
その他	1,747	1,824
貸倒引当金	△11	△11
固定資産合計	32,258	32,745
資産合計	80,595	82,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,201	8,906
電子記録債務	4,777	5,505
短期借入金	118	111
未払法人税等	1,438	786
工事損失引当金	23	44
保証工事引当金	34	34
その他	5,431	6,378
流動負債合計	21,024	21,765
固定負債		
長期借入金	322	305
役員退職慰労引当金	475	478
退職給付に係る負債	872	886
保証工事引当金	57	74
その他	4,554	4,689
固定負債合計	6,282	6,435
負債合計	27,307	28,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,146	2,146
資本剰余金	1,847	1,847
利益剰余金	41,412	42,745
自己株式	△2,408	△2,558
株主資本合計	42,997	44,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,410	8,669
その他の包括利益累計額合計	8,410	8,669
非支配株主持分	1,881	1,910
純資産合計	53,288	54,759
負債純資産合計	80,595	82,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	15,835	18,545
売上原価	13,288	14,987
売上総利益	2,547	3,558
販売費及び一般管理費	1,278	1,272
営業利益	1,268	2,286
営業外収益		
受取配当金	87	104
為替差益	5	98
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	54	31
営業外収益合計	148	235
営業外費用		
その他	3	10
営業外費用合計	3	10
経常利益	1,412	2,511
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	2	1
その他	0	—
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	1,410	2,509
法人税、住民税及び事業税	479	850
法人税等調整額	△5	△16
法人税等合計	473	833
四半期純利益	936	1,676
非支配株主に帰属する四半期純利益	71	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	865	1,635

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	936	1,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,176	259
その他の包括利益合計	1,176	259
四半期包括利益	2,113	1,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,037	1,894
非支配株主に係る四半期包括利益	76	42

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注3)
	コンクリート 二次製品関連	情報関連	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,113	1,436	14,549	1,285	15,835	—	15,835
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6	—	6	63	69	△69	—
計	13,119	1,436	14,555	1,348	15,904	△69	15,835
セグメント利益	864	85	949	395	1,344	△76	1,268

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境衛生部門、ホテル部門、技術提供収入部門、不動産賃貸収入部門、資材調達部門及び太陽光発電収入部門が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△76百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注3)
	コンクリート 二次製品関連	情報関連	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	15,740	1,449	17,189	1,355	18,545	—	18,545
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3	—	3	63	66	△66	—
計	15,744	1,449	17,193	1,418	18,612	△66	18,545
セグメント利益	2,041	47	2,089	393	2,482	△195	2,286

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境衛生部門、ホテル部門、技術提供収入部門、不動産賃貸収入部門、資材調達部門及び太陽光発電収入部門が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△195百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、各セグメントの経営成績の実態をよりの確に把握する目的からセグメント区分を見直し、「その他」の区分に含まれていた資材調達事業については、「コンクリート二次製品関連」事業に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。